

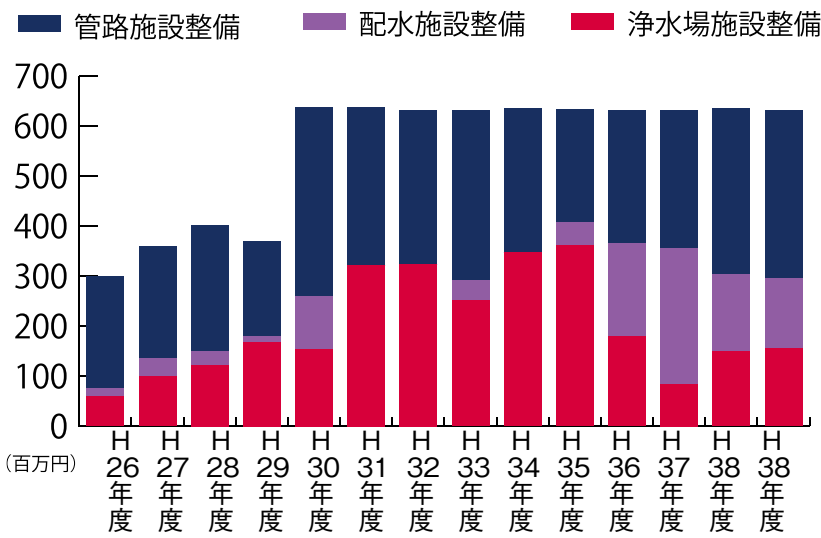
上下水道料金を改定

安全・安心な水道水の安定供給のため

ご理解とご協力を



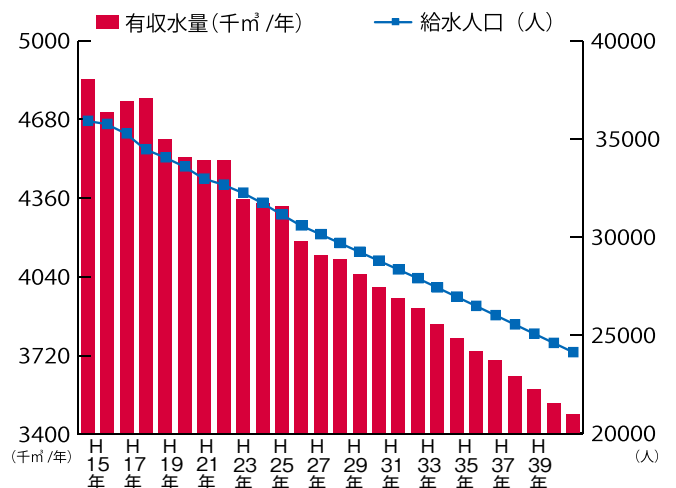
水道施設整備計画年次表



現在の水道料金は、平成25年度の料金改定後、県内最低水準で据え置いてきました。経費の節減や経営の効率化を図りながら、なんとか赤字を維持してきましたが、人口減少や節水機器の普及により料金収入が伸び悩む中、大量の老朽化施設の更新や耐震化対策などが早急に対応を要する課題となっております。

このまま料金を据え置いた場合には、安全・安心な水道の安定供給に必要な施設の更新事業などの実施が困難です。安定供給には水道料金の改定がどうしても必要であり、やむを得ず今年度から値上げをお願いするものです。

給水人口と有収水量の今後の見通し



水道事業の現状

- 給水人口の減少と節水意識の向上、節水機器の普及などによって給水収益が落ち込み回復が見込めない。
 - 老朽化した水道施設の更新に多額の費用が必要。
 - 4年ごとに定期的に料金見直しを行う。
- 市が経営する水道事業は、公営企業として一般会計から独立して運営しています。そのため、経営に要する費用は税金ではなく水道料金や投資のための借入金で賄われています。